

映像リサーチセンターDoCK:産学官<共創>研究拠点の構築

(実施団体:国立大学法人東京芸術大学)

目的・目標

国際的・分野横断的に活躍できる卓越したクリエイターやプロデューサーの育成を核とし、教育研究の知を蓄積・共有するリサーチャーや、教育実践を担うエドゥケーターの育成までを視野に入れた、長期的視点に立つ総合的な人材育成を目的とする。その実現のための拠点を構築し、アニメーション・映画等の専門的かつ分野横断的な育成プログラムを実践ベースで開発し、その成果を広く教育界・産業界に共有することを目指す。

概要

産学官<共創>研究拠点「映像リサーチセンターDoCK」を設立し、アニメーション・映画等を専門とする国内外の教育機関、業界団体、民間企業等と協力して、専門的かつ分野横断的な人材育成プログラムの開発・実践に取り組む。同時に、その過程で生み出される理論、指導方法、教材などの多様な知を蓄積・共有し、教育界・産業界へと広く共有する。さらに、5年目までにゲーム分野も含めた拡張を目指す。

(区分・分野)
アニメ・映画

(対象となる職種)
アニメーター、監督、プロデューサー、脚本、撮影・照明、美術、編集、サウンドエンジニア、リサーチャー、アーキビスト、エドゥケーター等

(育成人数)
280名/3年

3年目までの取組

1年目に国内外の人材育成の動向やニーズ調査等を行い、2年目に「映像リサーチセンターDoCK」を設立して10件程度の育成プログラムを実施（【アニメ】国際アニメ共同制作ワークショップ等3件、【映画】国際映画共同制作・演出ワークショップ等3件、【分野横断】プロデューサー育成講座、エドゥケーター育成講座等4件）。一部は履修証明プログラム化を目指す。



5年目までの取組

4年目からは**ゲーム分野も含めた拠点へと発展**。恒常的組織として持続発展させるための仕組みを構築すると共に、本プロジェクトの成果を学内のみならず広く外部に向けてオープンにすることで、当該分野における持続的な人材育成ならびにそれに資する教育研究に貢献できる体制を作る。

成果目標（見込）	目標値
国際的な活躍に必要なスキル習得のために開発・実証された育成プログラムの数	3年目：10件 5年目：12件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目：40件 5年目：60件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設・大学等の教育機関への参画や招へいを受けた件数	3年目：10件 5年目：30件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目：280人 5年目：600人

中核となる指導者等

- 岡本 美津子（プロデューサー／東京芸術大学教授）
- 諏訪 敦彦（映画監督／東京芸術大学教授）
- 布山 タルト（アニメーション研究／東京芸術大学教授）
- 横山 昌吾（映画編集／東京芸術大学教授）
- リピット 水田 堯（映画研究／南カリフォルニア大学教授）
- テレサ・チェン（プロデューサー）



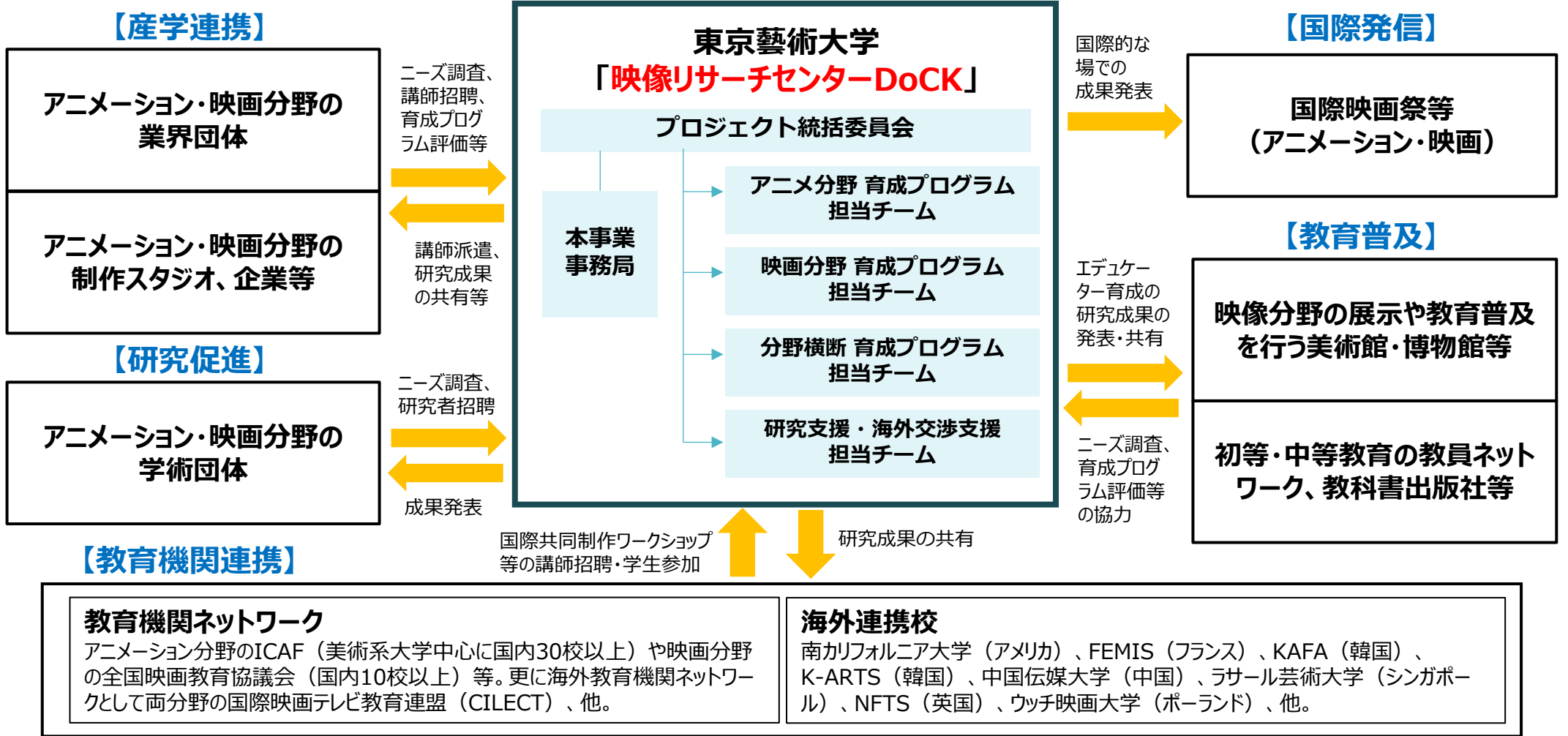
国際的な場での実践の取組例

国際企画開発ワークショップ（アヌシー、釜山等）
国際的に活躍するプロデューサーをメンターとして企画開発を行い国際的ピッチに参加<2年目～>

国際映画共同制作ワークショップ（パリ）
FEMISと連携し、日仏の学生達が共同で短編映画を制作し、作品講評と上映会を開催<2年目～>



実施体制



リサーチセンターの基本機能

